



フィールズ株式会社  
証券コード：2767

2013年3月期  
**株主通信**  
2012.4.1 → 2013.3.31

すべての人に最高の余暇を

## VOICE & VISION CONTENTS

- 01 会長メッセージ
- 03 マネジメントレビュー
- 07 IP (知的財産) の価値最大化に向けた「成長するビジネスモデル」の展開におけるTOPICS
- 09 連結財務諸表 (要約)
- 11 企業の社会的責任 (CSR) への取り組み
- 12 コーポレートデータ / 株式情報
- 13 IRコミュニティ
- 14 第三者によるフィールズの分析レポート

# Message From the Chairman & CEO

会長メッセージ



山本 英俊

代表取締役会長 (CEO)

山本 英俊

東日本大震災から2年あまりが経過いたしました。震災直後から、多くの方々が復興支援に携わっておりますが、被災地は未だ復興途上にあり、記憶にとどめるには尚早であると考えております。

私たちは、震災直後に設立した「ウルトラマン基金」を通じて、被災地へ継続的に足を運んでおります。訪れるたび、まだまだ私たちにできることがあると実感いたします。なかでも、私たちは新しい未来を切り拓く子どもたちへの支援を永続的に展開することが極めて重要であると考えております。今年も、「ウルトラマン基金」を通じて、わずかばかりではありますが寄付金と、マイクロバスを寄贈させていただきました。一人でも多くの子どもたちが笑顔を取り戻し、夢を語るができるよう、物心両面からの支援を粘り強く実施してまいる所存です。

改めて被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い心身とものご回復と地域のご復興をお祈り申し上げます。

世の中の人々に豊かさをもたらすべく、着実に歩みを続けてまいります。

当社は、「すべての人に最高の余暇を」という企業理念のもと、1988年に設立いたしました。以来、世の中の人々に豊かさをもたらす余暇の過ごし方について、調査・研究を重ねてまいりました。日本が成熟していく過程において、経済面・物質面の充実だけではなく、心のゆとりや豊かさに対する人々のニーズの高まりが自然の流れと考えたからです。そして、キャラクターやストーリーをはじめとした知的財産の多元展開にいち早く着目し、パチンコ・パチスロはもとより、多様なエンタテインメント分野で知的財産を活用した商品やサービスの提供を進めてまいりました。

余暇の在り方を追求してきた私たちは、全国のあらゆる場所に存在し、国民の娯楽として親しまれるパチンコ・パチスロに、エンタテインメントとしての可能性を見出しました。そして、パチンコ・パチスロ分野において、空間や商品のエンタテインメント化を企画・プロデュースすることで、大きな成果を上げることができました。一方で、将来にわたり安定的かつ継続的に知的財産ビジネスを強化・発展させるためには、パチンコ・パチスロ分野に主軸をおいたビジネスモデルから、知的財産に主軸をおいたビジネスモデルへの戦略転換が不可欠であると考えました。そして、戦略の整理・構築を進め、2012年5月に「成長するビジネスモデル」を発表いたしました。

今、私たちは、コミックス、アニメーション、映画/テレビの分野で知的財産を創出し、その認知度を高めるとともに、パチンコ・パチスロ、ゲームなどを含む広範なマーチャндаイジングの分野で知的財産を活用し、新鮮な感動や驚きを体験できる商品やサービスの提供に向けた挑戦を続けております。そして、その成果をもって、世の中の人々の余暇に対する想いに応え、さらなる成長を目指してまいり所存です。

最後になりますが、私たちフィールズは、企業活動のすべてにおいて人々の時間をさらに輝かせるべく、社内外の志を同じくする方々とともに着実に歩みを続けております。これまでも企業理念にご賛同賜り、お力添えを頂いてまいりました株主の皆様をはじめ、取引先や従業員、そのご家族の皆様へ深く感謝いたしますとともに、皆様からのご期待に応えるべくまい進してまいりますので、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2013年6月

# Management Review

マネジメントレビュー

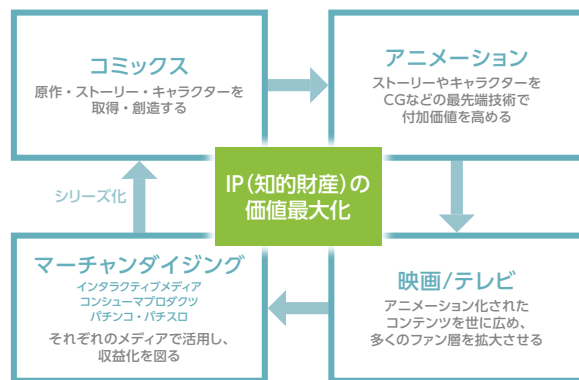
2013年3月期の業績と2014年3月期の見通し、2012年5月に発表した「成長するビジネスモデル」に基づいた事業の取り組みなどについて、社長の大屋、専務の繁松よりご説明させていただきます。



大屋 高志

代表取締役社長 (COO)  
大屋 高志

## 成長するビジネスモデル



## 2013年3月期 (以下、当期) の総括

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本株主通信をお届けするにあたり、日頃のご支援、ご愛顧に深く感謝申し上げます。

当社グループは、2012年5月に発表した「成長するビジネスモデル」(コミックス、アニメーション、映画/テレビ、マーチャндаイジングにおけるシームレスな循環型ビジネス展開)に基づき、キャラクターをはじめとしたIP (知的財産) の価値最大化を主軸とする事業を展開しています。

当期の連結業績は、売上高108,141百万円 (前年同期比17.3%増)、営業利益10,314百万円 (同21.0%増)、経常利益10,268百万円 (同18.6%増)、当期純利益4,720百万円 (同21.2%減) となりました。業績変動の主因は、パチスロ市場に有力商品を投入したことで、パチスロ販売台数が前年同期と比較して増加したことによるものです。なお、一部の子会社などで特別損失が発生しました。

## 当期の主な事業の取り組み

### IPの取得・創出・育成： コミックス、アニメーション、映画/テレビ

コミックス、アニメーション、映画/テレビの分野は、キャラクターやストーリーを創出し、認知度を高める役割を担っています。

コミックスの分野では、2011年11月にコミック誌を創刊するなど、ヒーローを基軸としたさまざまなコンテンツへの投資を行ってきました。なかでも、国内で広く認知されているヒーローの新展開を描いた『ULTRAMAN(ウルトラマン)』は、単行本第1巻、第2巻を刊行し、累計発行部数が40万部以上となっています。

アニメーション、映画/テレビの分野では、コミック誌掲載作品などの映像化を推進しています。その一つとして、2013年4月にテレビアニメ『銀河機攻隊 マジェスティックプリンス』の放送を開始しました。現在、複数のIPについて、単行本化や映像化を通じて認知度を高め、マーチャндаイジング分野へ展開する企画を積極的に進めています。

## マーチャンダイジング

マーチャンダイジングの分野は、コミックス、アニメーション、映画/テレビの分野で創出・育成したキャラクターやストーリーを活用し、多様なメディアやプラットフォームへの最適化を図った商品やサービスの提供を強力に進めることで、IPの価値を向上させ、収益の最大化を目指しています。

インタラクティブメディアの事業展開では、ソーシャル・ネットワーキング・サービスを中心に拡大するコミュニケーションプラットフォームを調査・研究しつつ、必要とされるコンシューマサービスやゲームなどを多様な面から検証し、今後の成長が見込める分野への投資を検討しています。なかでも、ソーシャルゲーム分野は、ゲームとしてのIP適性や市場における競合タイトルの飽和度などに鑑み、他のタイトルに対する優位性を高める新しいゲーム性などの企画・開発に注力しました。

コンシューマプロダクツの事業展開では、保有するIPの商品ラインアップの強化や流通経路の拡大な

どを進めるとともに、IPと連動した商品のギミック（新しい遊び方）の調査・研究、顧客への新しい流通形態などの企画検討を進めました。

今後、インタラクティブメディアとコンシューマプロダクツの事業は、ともに他メディアとのクロスメディア展開及び各事業分野におけるIP開発を目指して、密接に連携していきます。

パチンコ・パチスロの事業展開では、既存ファンの支持拡大と新規顧客の創造に向けた諸施策を進めています。当期は、大手遊技機メーカーの新ブランド「オッケー」の総発売元として、パチンコ機の販売を開始しました。また、パチスロ機では、『バイオハザード5』がファンから高い支持を得ました。なお、当期のパチンコ機の販売台数は約100,000台（前年同期比 約133,000台減）、パチスロ機の販売台数は約228,000台（同 約49,000台増）となりました。



繁松 徹也

専務取締役  
インタラクティブメディア事業本部長 兼  
コンシューマプロダクツ事業本部長

繁松 徹也

# Management Review

マネジメントレビュー

## 2014年3月期の見通し

2014年3月期の連結業績は、売上高120,000百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益12,500百万円（同21.2%増）、経常利益12,500百万円（同21.7%増）、当期純利益6,300百万円（同33.4%増）を見込んでいます。

IPの取得・創出・育成では、コミックス、アニメーション、映画/テレビの分野において、キャラクターやストーリーを創出・育成するための投資を継続し、IPの価値最大化を図っていきます。

マーチャндаイジング分野では、インタラクティブメディア、コンシューマプロダクツ、パチンコ・

パチスロへの事業展開において、IPを活用した商品・サービスの提供を通じてファン層を拡大し、収益化を図っていきます。とくに、パチンコ・パチスロの事業展開では、有力タイトルをはじめとした商品ラインアップの拡充を行うとともに、営業体制の強化を推進していきます。

株主の皆様への配当は、安定的かつ利益に応じた配当を基本方針としております。なお、当社は、2012年10月1日付で株式の分割及び単元株制度を採用していますが、株主の皆様への配当金について実質的な変更はございません。2013年3月期の1株

当たり配当金は、中間配当25円\*、期末配当25円（年間配当50円）を実施しました。2014年3月期の1株当たり配当金は、中間配当25円、期末配当25円（年間配当50円）を予定しています。

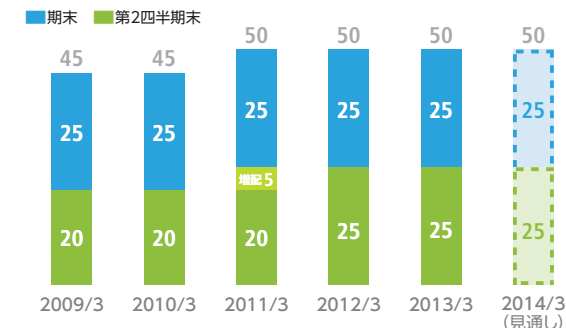
株主の皆様におかれましては、幅広いエンタテインメント領域での当社及び当社グループの取り組みにご期待頂き、引き続き長期的なご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

\* 2013年3月期の1株当たり中間配当金は株式分割を考慮した額を記載しています。

連結業績の見通し（単位：百万円）

	2013年3月期 （実績）	2014年3月期 （見通し）	前年同期比 （%）
売上高	108,141	120,000	+11.0
営業利益	10,314	12,500	+21.2
経常利益	10,268	12,500	+21.7
当期純利益	4,720	6,300	+33.4

1株当たり配当金（単位：円）



※ 2012年10月1日付で、普通株式1株を100株に分割しており、過去に遡って当該株式の分割を考慮した額を掲載しています。

## 副社長就任のご挨拶

このたび、取締役副社長を拝命いたしました秋山でございます。

私は、パチンコホールを地域の人々すべてに楽しんでもらえる最高のエンタテインメント空間にしたいとの創業時の想いに共感し、約四半世紀にわたり、「すべての人に最高の余暇を」という企業理念の実現に向けて取り組んでまいりました。

流通のオープン化を標ぼうし、すべてのメーカーの遊技機を取り扱う流通商社として創業した当社は、全国規模の営業網と、そのネットワークを基盤とするマーケティング力を築いてまいりました。そして、業界の発展への想いを同じくするホールやメーカーとともに、多彩な楽しみ方ができる空間づくりの提案や、キャラクターをはじめとしたIP（知的財産）を活用し、多くのファンが楽しめる遊技機の企画・開発を推進するなど、業界の健全化と活性化に尽力し続けています。

2012年5月に発表した「成長するビジネスモデル」において、パチンコ・パチスロ分野は、パチンコファンはもとより、IPのファン拡大に資する遊技機の企画・開発に努め、当社グループが創出するIPの価値最大化に貢献していく所存です。また、2014年3月期は支店の拡充、営業体制の強化を図り、さらに多くの人々の心を豊かにする空間と遊技機を提供できる体制を整え、企業理念の実現に向けて歩みを進めるとともに、引き続き収益の基盤を強固なものとしてまいります。

株主の皆様におかれましては、成長するフィールズにご期待頂き、今後ともご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



秋山 清晴

取締役副社長  
PS事業統括本部長

秋山 清晴

# IP（知的財産）の価値最大化に向けた「成長す

フィールズグループは、「成長するビジネスモデル」に  
2013年3月期の取り組みについて、

## IPの取得・創出・育成：コミックス、アニメーション、映画/テレビ

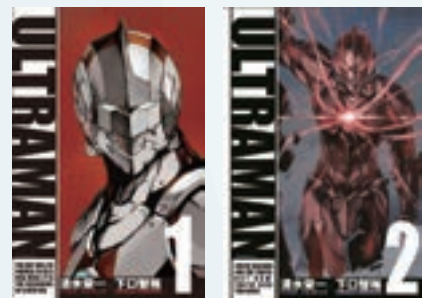
### 新しい『ウルトラマン』コンテンツの創出

#### 『ULTRAMAN』

- 「月刊ヒーローズ」を通じて新たに創出
- 単行本第1巻、第2巻を刊行、累計発行部数43万部  
(2013年4月時点)

#### 『ウルトラマンギンガ』

- 新テレビシリーズとして、2013年7月より『新ウルトラマン列伝』内にて連続放送
- テレビ放送用エピソード11本、イベント上映用としてスペシャルエピソード2本を制作



©円谷プロ  
©ヒーローズ



©円谷プロ

### 『銀河機攻隊 マジェスティックプリンス』テレビ放送スタート



©創通・フィールズ/MJP製作委員会

#### テレビ放送

2013年4月より全国28局にて放送中

#### ネット配信

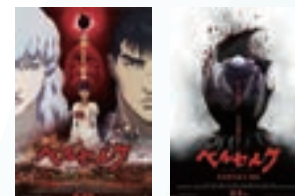
「ニコニコ動画」、「バンダイチャンネル」にて配信

#### コミカライズ

「ニュータイプエース」にて連載中

### 映画『ベルセルク 黄金時代篇』3部作公開

- 黄金時代篇シリーズ3部作を公開
- 世界16か国で配給
- 第2部『ドルドレイ攻略』が、第16回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門の審査委員会推薦作品に選出、フランス・アヌシー国際アニメーション映画祭長編コンペティション部門ノミネート



©三浦建太郎（スタジオ我画）・  
白泉社/BERSEK FILM PARTNERS



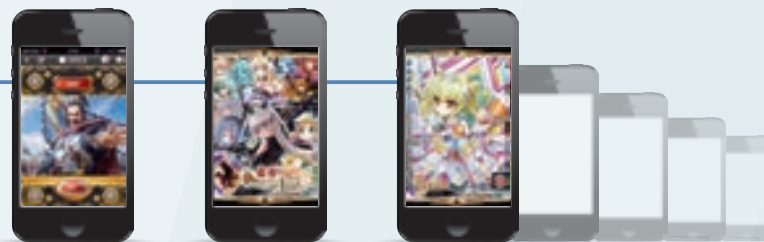
# 「ビジネスモデル」の展開におけるTOPICS

基づき、IPを活用した商品やサービスを提供しています。  
その一部をご紹介します。

## IPの価値最大化：マーチャンダイジング

### インタラクティブメディアへの取り組み強化

- AKB48関連のソーシャルゲームをはじめ、7本のゲームをリリース
- スパイシーソフト(株)からソーシャルゲーム事業取得、開発力の強化を推進
- コミュニケーションプラットフォームの調査研究



『蒼天航路—王者の進軍—』『姫奪!ダンジョンズロード』『神姫フルキュレラウンズ』

©王欣太・李學仁/講談社  
©Fields/FutureScope

©Fields/FutureScope

©Fields/FutureScope

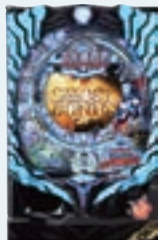
### コンシューマプロダクツの企画推進



- 大型IPを活用したカフェ&ショップの展開
- IPと連動した商品のギミックの調査・研究
- 保有するIPの商品ラインアップ強化・流通経路の拡大

### パチンコ・パチスロで有力商品を企画・販売

- 大手遊技機メーカーの新ブランド「オッキー」総発売元として販売開始
- 拡大基調にあるパチスロ市場へ有力商品を複数投入し、過去最高の販売台数に



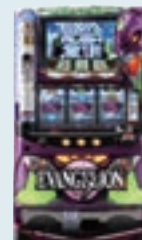
オッキー  
『新世紀ばちんこ  
攻殻機動隊  
STAND ALONE  
COMPLEX』

©士郎正宗・Production I.G /  
講談社・攻殻機動隊製作委員会



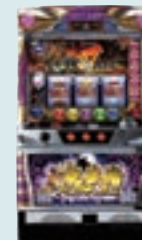
エンターライズ  
『バイオハザード5』

©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.



ビスティ  
『EVANGELION』

©カラー ©Bisty



ロデオ  
『新鬼武者 再臨』

©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.  
©Sammy ©RODEO

# Consolidated Financial Statements

連結財務諸表(要約)

2013年  
3月期の  
取り組み

## IP(知的財産)の価値最大化に向けた「成長するビジネスモデル」を展開

- 組織を6部門体制に移行、シームレスな循環型IPビジネスを展開
- 「月刊ヒーローズ」連載作品の映像化を推進、テレビ放送もスタート
- 複数のIPで、映像からマーチャンダイジングへの展開が進捗
- パチンコ・パチスロの分野では、新たな提携メーカーとの第一弾商品を含め、9タイトルを販売

## 連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2011年4月1日から 2012年3月31日まで	当連結会計年度 2012年4月1日から 2013年3月31日まで	増減率 (%)
売上高 <b>POINT 1</b>	92,195	<b>108,141</b>	<b>+17.3</b>
売上原価	60,865	<b>74,862</b>	<b>+23.0</b>
売上総利益	31,330	<b>33,279</b>	<b>+6.2</b>
販売費及び一般管理費	22,803	<b>22,964</b>	<b>+0.7</b>
営業利益 <b>POINT 2</b>	8,527	<b>10,314</b>	<b>+21.0</b>
営業外収益	574	<b>738</b>	<b>+28.6</b>
営業外費用	440	<b>784</b>	<b>+78.2</b>
経常利益	8,661	<b>10,268</b>	<b>+18.6</b>
特別利益	8	<b>10</b>	<b>+25.0</b>
特別損失 <b>POINT 3</b>	404	<b>1,276</b>	<b>+215.8</b>
税金等調整前当期純利益	8,265	<b>9,002</b>	<b>+8.9</b>
法人税等	2,099	<b>4,224</b>	<b>+101.2</b>
少数株主損益調整前当期純利益	6,165	<b>4,778</b>	<b>△ 22.5</b>
少数株主利益	174	<b>57</b>	<b>△ 67.2</b>
当期純利益	5,991	<b>4,720</b>	<b>△ 21.2</b>

(注) 増減率については、表上計算しています。

### POINT 1 売上高

売上高は、前年同期と比較して17.3%増加の108,141百万円となりました。

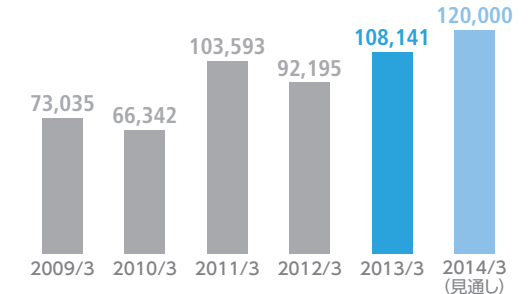
### POINT 2 営業利益

営業利益は、前年同期と比較して21.0%増加の10,314百万円となりました。これは主に、パチスロ市場に有力商品を複数投入したことで、パチスロ販売台数が前年同期と比較して増加したことによるものです。

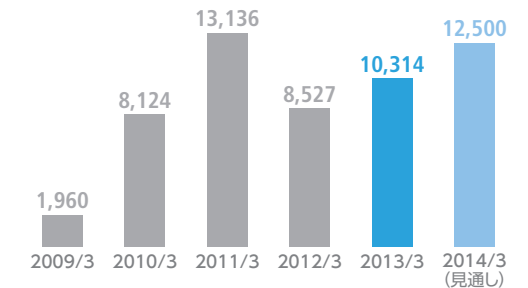
### POINT 3 特別損失

循環型ビジネスモデルとの整合性に鑑みた事業の整理・見直しなどにより、特別損失を1,276百万円計上しました。

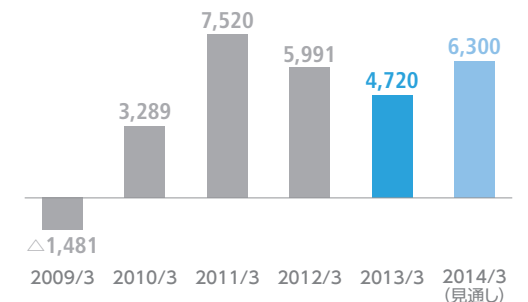
## 売上高 (単位:百万円)



## 営業利益 (単位:百万円)



## 当期純利益又は純損失 (△) (単位:百万円)



## 連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2012年3月31日現在	当連結会計年度 2013年3月31日現在	増減額
<b>資産の部</b>			
流動資産 <b>POINT 4</b>	62,811	<b>72,709</b>	<b>+9,898</b>
固定資産 <b>POINT 5</b>	30,790	<b>33,918</b>	<b>+3,128</b>
資産合計	93,601	<b>106,628</b>	<b>+13,027</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債 <b>POINT 6</b>	37,925	<b>47,365</b>	<b>+9,440</b>
固定負債	4,121	<b>4,164</b>	<b>+43</b>
負債合計	42,046	<b>51,529</b>	<b>+9,483</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	51,895	<b>54,957</b>	<b>+3,062</b>
その他の包括利益累計額	△824	<b>△398</b>	<b>+426</b>
少数株主持分	483	<b>539</b>	<b>+56</b>
純資産合計 <b>POINT 7</b>	51,555	<b>55,098</b>	<b>+3,543</b>
負債純資産合計	93,601	<b>106,628</b>	<b>+13,027</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2011年4月1日から 2012年3月31日まで	当連結会計年度 2012年4月1日から 2013年3月31日まで	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,015	<b>13,570</b>	<b>+3,555</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,798	<b>△6,263</b>	<b>△1,465</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,565	<b>△2,277</b>	<b>+288</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	<b>△3</b>	<b>△3</b>
現金及び現金同等物の増減額	2,652	<b>5,025</b>	<b>+2,373</b>
現金及び現金同等物の期首残高	15,632	<b>18,284</b>	<b>+2,652</b>
現金及び現金同等物の期末残高	18,284	<b>23,309</b>	<b>+5,025</b>

(注) 増減額については、表上計算しています。

### POINT 4 流動資産の主な差異

流動資産は、前期末から9,898百万円増加して72,709百万円となりました。これは主に、「受取手形及び売掛金」が、主としてパチスロ遊技機販売に係る売上債権の増加などにより前期末から7,615百万円増加して42,017百万円となったことによるものです。

### POINT 5 固定資産の主な差異

固定資産は、前期末から3,128百万円増加して33,918百万円となりました。これは主に、「有形固定資産」が本社移転に伴う固定資産の取得などにより、前期末から171百万円増加して11,151百万円となったこと、「投資その他の資産」が投資有価証券の増加などにより、前期末から2,789百万円増加して、18,226百万円となったことによるものです。

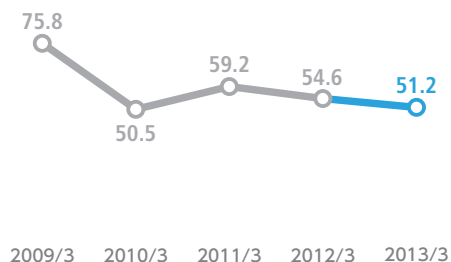
### POINT 6 流動負債の主な差異

流動負債は、前期末から9,440百万円増加して、47,365百万円となりました。これは主に、「支払手形及び買掛金」が、主としてパチスロ遊技機販売に係る仕入債務の増加により前期末から7,504百万円増加して36,604百万円となったこと、「未払法人税等」が3,747百万円増加して3,931百万円となったことなどによるものです。

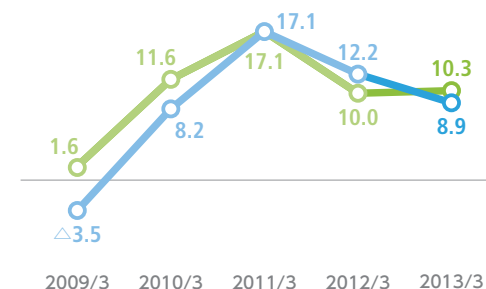
### POINT 7 純資産の主な差異

純資産は、前期末から3,543百万円増加して、55,098百万円となりました。これは主に「利益剰余金」が、当期純利益の増加により前期末から3,061百万円増加して40,835百万円となったことによるものです。

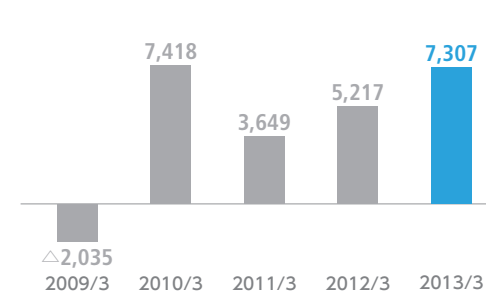
## 自己資本比率の推移 (単位:%)



## ROE/ROA (単位:%)



## フリー・キャッシュ・フロー (単位:百万円)



# Corporate Social Responsibility

## 企業の社会的責任 (CSR) への取り組み

当社及び当社グループは、「すべての人に最高の余暇を」という企業理念の実現に向け、社会や人々の豊かさに資するエンタテインメントを提供しています。

その事業活動を永続的に推進し、社会と共栄し続けることが当社CSRの基本的な考え方であり、その基盤となる経営の健全性や社会からの信頼を得るために、CSR活動を重要な取り組みと位置づけています。



## ウルトラマン基金の活動

### 2011年に引き続き、福島県・宮城県・岩手県へ、寄付金・マイクロバスを寄贈

ウルトラマン基金は、多くの企業や一般の皆様からのご賛同を頂き、被災地の子どもたちに対し継続的な支援活動を行っています。東日本大震災の発災から2年が経過した今もなお、子どもたちに対する支援が必要であることから、2013年3月に、円谷ヒーローの訪問とともに、寄付金及び円谷ヒーローのラッピングを施したマイクロバスの寄贈を行いました。今後も被災地の子どもたちの未来のための活動を、粘り強く実施してまいります。

#### 2013年

3月11日 福島県富岡町へマイクロバスを寄贈

3月12日 「東日本大震災ふくしまこども寄附金」へ  
寄付金2,500万円を贈呈

「東日本大震災みやぎこども育英募金」へ  
寄付金2,500万円を贈呈

宮城県東松島市へマイクロバスを寄贈

3月18日 岩手県宮古市へマイクロバスを寄贈

「いわての学び希望基金」へ寄付金2,500万円を贈呈



## 2012年4月から2013年5月までの主な取り組み

- ▶ ザ・レジェンド・チャリティプロアマトーナメントに協賛
- ▶ (株)アートネイチャーと協同で代々木公園清掃活動を実施
- ▶ 渋谷区南平台町 (本社周辺) 清掃活動を毎月1回実施
- ▶ 渋谷警察署の犯罪防止キャンペーンに協力し、ウルトラマンやカネゴンが登場
- ▶ 夏季、冬季の節電の取り組みを推進
- ▶ 被災地から首都圏へ避難している子どもたちに対する支援活動を実施 (ウルトラマン基金)
- ▶ 情報セキュリティマネジメントシステム [ISO27001:2005] の認証を継続
- ▶ 「[鳥の島] 再発見ツアー in お台場海浜公園」(清掃活動)に参加
- ▶ 渋谷区「第13回 大向地区町会連合・防災訓練」に参加
- ▶ 品質マネジメントシステム [ISO9001:2008] の認証を継続
- ▶ 一般社団法人JEAN主催「鶴沼海岸クリーンアップキャンペーン」に参加
- ▶ 全国の営業社員向けに安全運転講習会を実施



### 「ヒーローキャラバン ～子どもたちの心に光を～ 78 Places in 東北」をスタート

2013年3月、ウルトラマン基金は、円谷ヒーローたちが78か所の被災地を訪れて子どもたちの夢を応援する「ヒーローキャラバン～子どもたちの心に光を～ 78 Places in 東北」をスタートしました。3月には、11か所の幼稚園やボランティアセンターへのキャラバン訪問を実施しました。子どもたちがヒーローと触れ合い、笑顔で過ごす時間の中で、子どもたちが自然に将来の夢を語るができる機会を作りたいと考えています。



ヒーローキャラバンの活動を含む  
ウルトラマン基金の詳細についてはWebサイトをご覧ください

<http://www.ultraman-kikin.jp/>

# Corporate Data

コーポレートデータ

## 会社概要

(2013年3月31日現在)

商号	フィールズ株式会社 (英文: FIELDS CORPORATION)
企業理念	「すべての人に最高の余暇を」
設立	1988年6月
本社所在地	〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16番17号 渋谷ガーデンタワー
資本金	7,948百万円
従業員数	1,416名(連結)
事業内容	1. キャラクター、コンテンツの企画開発、販売 2. 映像ソフトの企画開発、販売 3. 遊技機の企画開発 4. 遊技機の仕入、販売
連結対象会社	ルーセント・ピクチャーズエンタテインメント(株) (株) デジタル・フロンティア (株) 円谷プロダクション (株) フューチャースコープ トータル・ワークアウトプレミアムマネジメント(株) 他 11社

## 役員

(2013年4月1日現在)

代表取締役会長	山本 英俊
代表取締役社長	大屋 高志
取締役副社長 (PS事業統括本部長)	秋山 清晴
専務取締役 (インタラクティブメディア事業本部長 兼 コンシューマプロダクツ事業本部長)	繁松 徹也
常務取締役 (コンテンツ本部長)	栗原 正和
取締役 (計画管理本部長)	山中 裕之
取締役 (コーポレート本部長)	伊藤 英雄
取締役 (PS事業統括本部副本部長)	藤井 晶
取締役 (法務室長)	末永 徹
社外取締役	糸井 重里
社外監査役 常勤	池澤 憲一
社外監査役	小池 勲夫
社外監査役	古田 善香
社外監査役	中元 紘一郎
執行役員 (計画管理本部副本部長)	小澤 謙一
執行役員 (コーポレートコミュニケーション室長)	畑中 英昭
執行役員 (PS事業統括本部副本部長)	藤島 輝男
執行役員 (PS事業統括本部支店統括部長 兼 同本部北海道・東北支社長)	若園 秀夫
執行役員 (イメージング&ライブエンタテインメント本部長 兼 アニメーションプロデュース本部長)	小澤 洋介
執行役員 (研究開発室長)	大塩 忠正
執行役員 (メディアリレーション事業本部長)	菊池 伸之
執行役員 (イメージング&ライブエンタテインメント本部副本部長) (株) デジタル・フロンティア代表取締役社長	植木 英則
執行役員 (アニメーションプロデュース本部副本部長) (ルーセント・ピクチャーズエンタテインメント(株) 代表取締役社長)	鎌形 英一
執行役員 (インタラクティブメディア事業本部 エグゼクティブプロデューサー) (株) フューチャースコープ代表取締役社長	富永 政雄

(注) ( )内は主たる役職となっています。

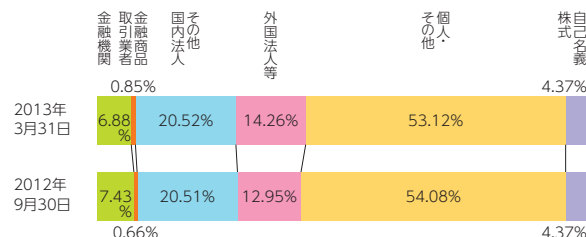
# Stock Information

株式情報 (2013年3月31日現在)

## 株式状況

発行可能株式総数	138,800,000株
発行済株式総数	34,700,000株
自己名義株式	1,516,200株
株主数	8,959名

## 所有者別株式分布状況



## 大株主

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
山本 英俊	8,675,000	25.00
(株) SANKYO	5,205,000	15.00
山本 剛史	3,612,800	10.41
(有) ミント	1,600,000	4.61
ノーザントラスト カンパニー (エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント	941,148	2.71
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	790,100	2.28
資産管理サービス信託銀行(株) (証券投資信託口)	530,500	1.53
大屋 高志	450,000	1.30
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	392,900	1.13
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口4)	386,800	1.11

\*当社所有の自己名義株式は除いています。

(注) 2012年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合をもって分割しています。

# IR Community

IRコミュニティ



札幌会場



島根会場



大分会場

## 個人投資家向け会社説明会を実施しています

株主及び個人投資家の皆様に、当社への理解を深めて頂きたいとの思いから、全国各地で会社説明会を実施しています。2013年3月期は、北海道、富山、石川、滋賀、鳥取、島根、山口、大分、沖縄の9か所で開催し、約900名の方にご来場頂きました。

説明会では、当社の事業の内容やビジネスモデルについてご説明させて頂き、皆様からは、IP（知的財産）の今後の展開や株主還元などについて、幅広くご質問を頂戴しました。

今後もこのような説明会を継続的に実施し、対話を重ね、より良い信頼関係の構築に努めてまいります。

### ご来場者から頂いたご質問



事業領域が広がっていますが、グループ各社とのコミュニケーションや社内の雰囲気はどのようになっていますか？

**A** グループ各社の拠点を本社周辺に集約したことで、コミュニケーションがより活発化しています。また、社内では、IPの取得・創出・育成に向け、非常に高いモチベーションを持って取り組んでいます。

## 2013年3月期 主なIR活動の実施報告

2012年	5月	2012年3月期決算説明会開催
	6月	個人投資家向け会社説明会開催（滋賀、鳥取） 第24回定時株主総会開催
	8月	2013年3月期1Q決算説明会開催 個人投資家向け会社説明会開催（北海道）
	9月	個人投資家向け会社説明会開催（山口、沖縄） 海外IR実施
2013年	11月	2013年3月期2Q決算説明会開催 個人投資家向け会社説明会開催（富山、石川） 海外IR実施
	12月	海外IR実施
	2月	2013年3月期3Q決算説明会開催
	3月	個人投資家向け会社説明会開催（島根、大分）

## 2014年3月期 IRスケジュール

2013年	5月	2013年3月期決算説明会開催 個人投資家向け会社説明会開催（北海道）
	6月	第25回定時株主総会開催
	8月	2014年3月期1Q決算発表
2014年	11月	2014年3月期2Q決算発表
	2月	2014年3月期3Q決算発表

※2014年3月期も、個人投資家向け会社説明会、海外IRを随時実施いたします。  
※個人投資家向け会社説明会の開催予定は当社IRサイトにてご案内いたします。

## 積極的な情報開示を推進していきます

当社は、株主・投資家の皆様をはじめとするステークホルダーの方々に有意義な情報を提供し、当社への理解促進を図るため、様々な情報を広く開示しています。

IRサイトでは、タイムリーかつ有用な情報提供を継続的に行い、利便性向上を図っています。そのほか、株主の皆様のお手元へお届けする本株主通信や、毎年発行するアニュアルレポートなどにおいても、当社への深い理解へつながらよう、積極的な情報発信に努めています。



## 2013年3月期のIRサイトの外部評価

- ◆日興アイ・アール発表2012年度全上場企業ホームページ充実度ランキング「最優秀サイト」
- ◆大和インベスター・リレーションズ発表「2012年インターネットIR表彰・優秀賞」
- ◆ゴメス・コンサルティング発表「Gomez IRサイトランキング2013」新興市場ランキング第1位

<http://www.fields.biz/ir/j/>

フィールズ IR



## 第三者によるフィールズの分析レポート

前田 裕介 (まえだ・ゆうすけ)

JPモルガン証券(株)  
株式調査部 アナリスト

2008年JPモルガン証券(株)株式調査部へ入社。小売、自動車セクターで経験を経て、2010年よりメディア・ゲーム・インターネットセクターに所属。現在はメディア及び遊技機セクターを担当。1984年生まれ、米ウッドブリッジハイスクール、慶應義塾大学商学部卒業。

フィールズ(株)は、パチンコ・パチスロ分野を主力事業としつつ、コミックス、アニメーション、映画/テレビ、ソーシャルゲームなど幅広いエンタテインメント領域に進出している。同社のこれからの期待している点として、(1)遊技機タイトルラインアップの拡充・平準化、(2)IP(知的財産)展開でのヒット作品創出と利益の顕在化、(3)IPに関する環境変化を挙げる。

第1に、優良アライアンス先拡充による遊技機ラインアップの盤石化は、株式市場における同社の評価を高める重要な要素であると考えられる。1、2機種の大型タイトルのみでほとんどの利益を稼ぎ出すビジネス展開が長期的に見て安定的とは言いがたい。また、メーカー都合で販売スケジュールに期ズレが

生じることは、販売会社の大きな事業リスクとして顕在する。同社はこの点で、これまでの「ビスティ」、「ロデオ」に加え、「オッケー」や「エンターライズ」の投入タイトル数増加、「ミズホ」ブランドの展開などが見込まれ、ラインアップや発売時期の平準化が期待される。さらなる提携先拡充や、その試みの中で『エヴァンゲリオン』(ビスティ)に次ぐ柱を構築することに成功すれば、過去最高益の更新も十分視野に入ってくる。

第2に、注目するIP展開のトピックスとしてはまず、2013年2月にスパイシーソフト(株)からソーシャルゲーム事業を取得したことが挙げられよう。開発エンジン・スタッフの獲得により、今後投入するソーシャルゲームのクオリティ向上、スピーディな展開、それに伴うヒット作品の台頭と業績への貢

献に期待したい。また、コミック誌「月刊ヒーローズ」と連動した、アニメ『銀河機攻隊 マジェスティックプリンス』のテレビ放送が2013年4月から開始された。アニメ自体の人気化はもちろん、臨場感溢れる戦闘シーンや美しいグラフィックから、今後遊技機化やソーシャルゲーム化を含めたメディアミックス展開に発展するかに注目している。

第3のポイントは、TPP(環太平洋経済連携協定)。同社の業績見通しに即座に直結する要素ではないものの、日本がTPPに加盟すれば、同社を含め国内コンテンツ産業にとって追い風となる可能性がある。知的財産保護の強化により、模倣品・海賊版の減少や、コンテンツの輸出が促進されるといったメリットが考えられる。だが、著作権に厳しく、価格の高い国内コンテンツが、TPPへの加盟によってさらにその性質を強めたばかりのところ、産業全体の本質的な成長には繋がらないだろう。重要なのは、国内IPを海外へ積極的に根付かせていこうとするマネジメントマインドの有無であると我々は考えている。この点で、フィールズ(株)では『ウルトラマン』を筆頭に、ヒーローコンテンツのグローバル展開の進展に注目していきたい。むしろ、これを早期に成功させることは容易ではないが、将来的には「ウルトラマン→フィールズ」として海外投資家からの認知度が高まり得ると期待する。

なお、上述したフィールズ(株)の見通しに向けて、株主ポートフォリオの拡大に備えておくことも重要な経営課題だろう。同社のCSRへの取り組み、情報開示の質、投資家との対話などは業界内でも高く評価できる。あとは、さらなる株主還元への積極化や、エポックメイキングなアクションを起こすことで、株式取引を活発化させていけるかに期待したい。

# Shareholder Memo

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	
定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行(株)の本店及び 全国各支店で行っております。
上場証券取引所	大阪証券取引所(JASDAQスタンダード) 証券コード:2767
公告方法	電子公告 URL <a href="http://www.fields.biz/ir">http://www.fields.biz/ir</a> (事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

### ◎住所変更のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行(株)にお申出ください。

### ◎未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行(株)にお申出ください。

### ◎「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用頂くことができます。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



## すべての人に最高の余暇を

### 企業理念への想い

### VOICE

企業理念である「すべての人に最高の余暇を」の実現に向け、フィールズグループは新たなビジネスモデルを発表し、IP(知的財産)を軸にビジネスを展開しています。このビジネスの根幹となるIPを創出し、保全し、適切に運用する、この流れがIP自体の価値を高め、さらなる収益を産む仕組みを構築し、これが法的に保護されたものとするのが、今後の成長に向けた重要なミッションであると考えています。将来のグローバル展開に備えた体制の整備なども進め、「成長するビジネスモデル」推進の基盤を盤石なものとし、IPの価値最大化に貢献してまいります。

文・表紙文字=取締役(法務室長)

末永 徹

### IRお問い合わせ先

フィールズ株式会社

コーポレートコミュニケーション室 IR課

TEL 03-5784-2109 MAIL [ir@fields.biz](mailto:ir@fields.biz)



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。